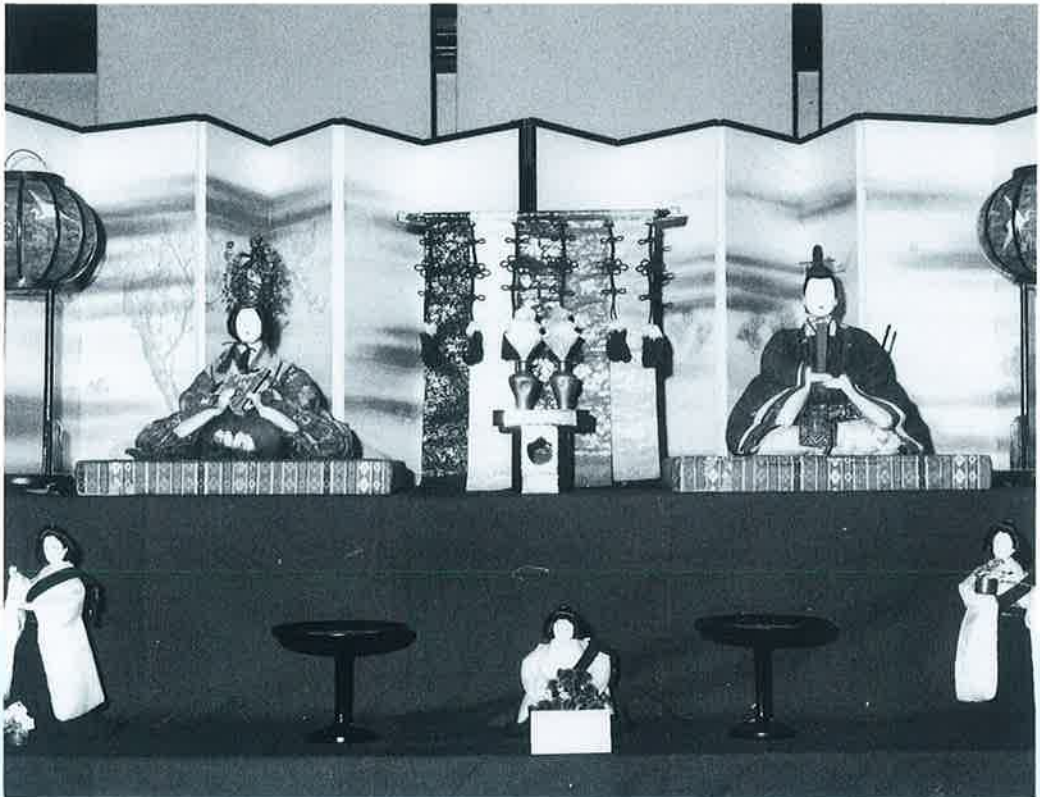


ともえ



函館商工会議所
創立
100周年



市立函館博物館の親王びな

No. **172** 函館商工会議所報
1996 — 3月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL.22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート
ローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- | | | | | | |
|--------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|
| ●湯川支店 | ☎57-0572(代) | ●上磯支店 | ☎73-2308(代) | ●美原支店 | ☎46-9121(代) |
| ●十字街支店 | ☎26-5544(代) | ●花園支店 | ☎55-2110(代) | ●富岡支店 | ☎43-1311(代) |

視点

1

会議所のうごき

2〜6

・道経連地域経済懇談会／議員懇話会／函館マルチメディアセミナー／コンベンションセミナー／部会・委員会報告二月／振興委員連絡会議／北海道新幹線早期着工実現道南地方総決起大会／道立函館高等技術専門学校の再編整備／函館くしんガポール間国際定期航空路開設に関する陳情／全日空新潟・広島便就航決定／事務局日誌

調査レポート

7〜11

・地域の景気 金融経済概況一月
 ・函館地域における景気動向 第3四半期
 ・市内第一種大規模小売店舗売上高一月
 共済推進コーナー

ティータイム

13

アドバイスコナー

14〜15

・中小企業のためのマルチメディア活用方法 3

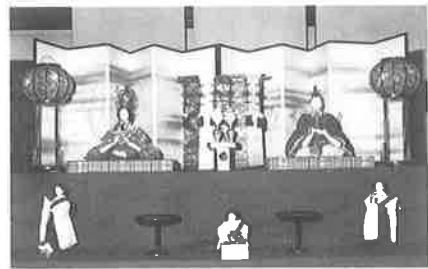
Q&A

16〜17

・みんなの相談室 税務・労務相談

インフォメーション

18〜20



◇今月の表紙

市立函館博物館に保存されている雛人形は、幕末から明治初期の所産とされ、絢爛な古今びなの流れをくむ貴重なものである。明治時代の市内の実業家が所有していたものであり、後に子孫によって博物館に寄贈された。年々生活の中から年中行事が薄れていく中、ひな祭は根強く息づいてきたというのを感じさせる。

一九八六年撮影。
 (写真提供・市立函館博物館)

視点



シンガポールで世界三大まつりのひとつといわれている「チンゲイパレード」が日本でいう旧正月にあたる二月二十四日、シンガポール・オーチャードロードにおいて盛大に開催された。

今回このパレードに、函館の「いかおどり」が招待を受け、多くの市民が参加した。世界十二カ国のひとつに選ばれたことは大変名誉なこと、日本にとっても勿論、函館にとっても誇りにする出来事であった。

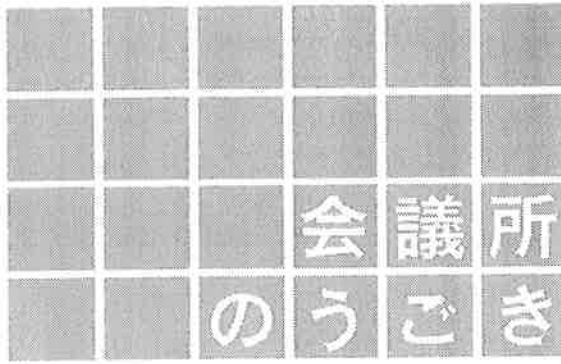
これも日頃から交流を深めている函館国際観光協会(シンガポール政府観光局と姉妹提携)や本所議員の柳沢氏が日本でただ一人の名誉観光領事であることがきっかけとなって実現したものである。

このパレードは、三十四団体がそれぞれの民族衣装で参加をし、見ている方も非常に楽しいおまつりであった。

沿道の観客も大変多く交通規制の徹底、進行係員の適切な誘導など函館のまつりにも参考となる部分が多かった。

また、この機会を活用しシンガポールとの定期航空路の情報を関係者をお願いしてきた。

このように民間ベースの交流の積み重ねが重要であり、今後もこのような交流がますます広がることを期待したい。今回も、日頃の地道な交流の必要性を痛感した。



新たな地域づくりへ意見交換 道経連地域経済懇談会

北海道経済連合会主催の函館地域経済懇談会は、去る二月六日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。当日は、北海道経済連合会から戸田会長をはじめ、役員十四名の方が、そして当地域から松本会頭をはじめ、安井函館市助役など経済界を中心に三十二名が出席しました。

この懇談会は、北海道経済連合会が各地域の諸課題に的確に対応し活動に反映させていくため、道内主要都市で開催しており、当市においては、平成五年八月以来の開催となりました。

懇談会では、出席者紹介の後、戸田道経連会長から主催者挨拶、安井函館市助役から来賓挨拶が行われ、引き続き本所松本会頭から函館地域の主要課題と題し、高速交通体系の確立、経済基盤の強化、人材の育成と確保等について基調報告が行われました。その後、新たな地域形成への取組み、地域産

業の振興に向けて、首都機能移転問題についての意見交換が行われ、有意義にそして実りある会議となりました。

議員懇話会を開催

去る二月二十九日、湯川温泉・湯の浜ホテルに於いて、本所議員で構成する議員会（会長飯田眞一氏）主催による恒例の議員懇話会が開催され、一昨年の議員改選により新議員になられた方、また、移動などにより交替議員となられた方々の歓迎会が行われました。

始めに飯田会長から改めて、新議員・交替議員を歓迎する旨の挨拶と今年度の議員会視察旅行が三月三十一日から四月七日にかけてミャンマーに決定したことに併せて多数の参加要請が行われました。続いて、当日出席の十四名の新議員からそれぞれ挨拶が行われ、終始なごやかに終了しました。

★新入会員をご紹介下さい★

本所では現在、新入会員の加入募集運動を実施しています。会員の皆様のお取引先やお知り合いの方で、まだ本所に未加入の事務所がございましたら、是非ご紹介下さい。ご一報いただければ本所職員がお伺いいたします。また、ご紹介いただいた事業所が本所会員になられた場合には、ご連絡いただいた会員の皆様にも粗品を贈呈させていただきます。

紹介のお電話、お問い合わせは、本所会員課 TEL23-1181まで。

正念場の北海道新幹線

早期着工総決起大会開催

北海道新幹線について、「新しい基本スキーム」の策定が目前に迫ったことから、二月二十六日、函館国際ホテルを会場に、北海道新幹線建設促進道南地方期成会（会長松本会頭）の主催で、「北海道新幹線早期着工実現道南地方総決起大会」が開催されました。

当日は、新幹線青森・函館同時開業促進期成会（会長松崎副会頭）から議員企業、各町内会等多くの会員をはじめ道南各地の期成会合わせて七百五十名の参加があり、大変熱気をおびた大会となりました。

大会では、松本会長から「本年は道新幹線にとって正念場の年であり、関係者一丸となって早期着工と青函同時開業に取り組みたい」との挨拶の後、北大工学部の佐藤教授による「北海道新幹線の活用に向けて」と題して、人・物ばかりではなく文化の交流による地域発展のためぜひとも新幹線が必要

との基調講演がありました。木戸浦市長、松崎同時開業期成会会長などの決意表明の後、大会決議が満場一致で可決され、スキームへの道新幹線の着工明記と青函同時開業明記へ取り組んでいくことになりました。



シンガポール定期便 就航目指し要望書提出

函館～シンガポール間の国際定期航空路の開設を目指し、商工会議所、函館市など六者が連名で去る二月二十六日、シンガポール政府観光局を訪れ、タン・チン・ナム局長へ要望書を提出しました。

これは、函館空港が国際空港となり国際化が一層加速しつつあること、また市民レベルでも函館とシンガポールの交流が深まっていることから、両地の友好親善や経済交流を更に深め、また観光地を始めとした両地の持つ資源を活用するという趣旨のもとに陳情を行ったものです。

現在東北北海道地域からシンガポールを訪ねる観光客は年間約六万人を数え、函館からの定期便就航が期待されています。

高等技術専門学院の 再編整備決定

去る、二月二十二日「道立函館高等技術専門学院整備推進協議会（会長・本所小笠原副会頭）」が

開催され、道立函館高等技術専門学院前田学院院长より平成八年度から同学院の整備に関わる約一億円の予算付がなされたことの説明がありました。また、同協議会は、これらをふまえて道庁及び地元選出道議会議員を中心に要望することを決め、去る二月二十六日に小笠原会長他一行六名が道庁・道議会にお礼と今後に対する要望を行いました。

全日空新潟・広島便 四月一日より就航

来る四月一日より全日本空輸による函館～新潟・広島便が就航することになりました。

これは、本所も委員として参画している函館空港整備促進連絡協議会が中心となって数度にわたって運輸省、航空会社等への陳情、要望活動などの結果、実現したものです。

この度の新潟・広島便就航に伴い函館空港からの国内外定期路線網は東京、福岡など十路線となり、地域経済の振興・発展に大きな役割を果たすものと期待されます。

部 会 ・ 委 員 会 報 告 二 月

● 運輸港湾部会

去る二月七日運輸港湾部会幹事会が、五島軒駅前店において松崎担当副会頭、斎藤部会長を始め、十名の幹事・オブザーバーが出席して開催されました。

当日は、まず函館市港湾部熊田部長より「最近の函館港の現状について」をテーマに、これまでの函館港における港湾整備状況と今後の整備計画について説明を受け、出席者一同理解を深めました。

引続き、平成八年度の事業計画について審議が行われ、新年度は従来より検討を継続してきた港湾問題に加え、業界が抱える問題として対応が急がれている道路アクセスを含めた問題についても協議検討していくこととなり、今後他の部会委員会とも連携を図りながら積極的に推進していくことになりました。

● 工業部会

工業部会幹事会が、去る二月九日(月)午後一時三十分より五島軒駅前店にて開催されました。

当日は、まず本所百周年記念事業の一環として昨年十月開催された「のびゆくはこだて産業展」について事務局より結果報告がなされ、今後数年毎に継続的に開催される事が確認されました。

次に、当部会として新年度に取り組むべき事業について協議し、道立工業技術センターの活用による技術水準の向上や新技術の開発、テクノポリス函館計画等に基づく事業の推進等とともに地場産業のより一層の振興をめざして強力に取り組んでいくこととしました。引続き、「電気料金の改定等」について北海道電力函館支店理事支店長伊藤三雄氏より説明がなされ、盛会裡に終了しました。

本所商業部会が 近隣商工会長と懇談会

平成二年以来、これまで三度にわたり大幅な規制緩和が行われてきた大店法の影響により、当市における大型店の面積は全市小売業の半数を超え、商業核が分散するなどの問題を生じています。さらに、近年では、上磯町七重浜地区への大型店出店が相次ぐなど、商業地図がぬりかえられる状況にあります。

こうしたことから、地域の商業を活性化させるためには、広域的な視点に立つて行うことが必要になっていきます。

去る二月二十八日、本所の呼びかけで、亀田、銭亀沢、上磯の各商工会長と商業部会正副部会長との商業問題懇談会が本所会議室で開催されました。

当日は、商業統計調査結果等をもとに圏域内の商業事情の分析、最新の情報の交換や地域商業の抱える問題点の抽出を行いました。各出席者とも、今後は地域の経済団体が団結して当たらなければ

ならない問題があるとの認識で一致し、継続して懇談の場を持つことを確認し終了しました。

振興委員会 連絡会議開催

平成七年度第三回振興委員連絡会議が去る二月八日(木)午後三時より、本所において開催されました。

当日は、情報交換を中心におこなわれ、振興委員である函館都心商店街振興組合、山口友章氏より近隣町村への相次ぐ大型店の進出等による大門商店街への影響、課題等について、又、北海道米穀小売商業協同組合、千葉勝氏より昨年十一月一日からの新食糧法施行に伴う業界の問題点等についてそれぞれ講話がありました。

続いて、本所事業への要望として、小規模事業者に対するきめ細かな指導、特に巡回指導の強化を図ってほしい等活発な意見交換がなされました。最後に、本所より事務連絡があり、会議を終了しました。

関心の高さを反映し盛況 マルチメディア推進セミナー

去る二月十七日、ホテル函館ロイヤルを会場として、「マルチメディア推進セミナー」が開催されました。

本セミナーはマルチメディアのイメージを具体化し、理解を深めてもらうことを目的に函館マルチメディア推進協議会（会長、中村紘司道教育大函館校教授、本所事務局）が渡島支庁、函館市等の協力のもとに開催したものです。



当日は、慶応大学湘南キャンパス武藤佳恭助教授のインターネットに関する特別講演を始め、渡辺保史フリーランスライターと地元有識者によるパネルディスカッション、マルチメディア機器のデモンストレーション等が行われ、来場者も六百人を越える盛況となり、関心の高さとともに、地域活性化の起爆剤としての可能性に熱い期待が寄せられていました。

去る十二月一日に設立された函館コンベンションビュローの初の事業として、道主催によるコンベンションセミナーが、二月六日函館国際ホテルにおいて開催されました。

約百名が参加した今回のセミナーは、コンベンションが観光、経済の振興面からみて非常に重要な産業であることの理解を地域に広

コンベンションセミナーを開催

く周知し、啓発を図るため、コンベンション業務を幅広く扱っている情報伝達研究所より渡辺厚氏を講師として迎え「地域経済を活性化するコンベンション」と題して講演が行われました。

その中で、二十一世紀へ向けてこれからのコンベンションのあり方について、従来の通過型観光から滞在型体験交流へと変化してお



り、コンベンション誘致の都市間競争も施設の優劣に加え地域のアイディアが問われる傾向があるという説明がありました。

また、スライドを使って世界各都市の開催事例が紹介され、地域の受け入れ体制として、街をあげてのモチベーションと既存の観光資源を新たにコンベンション資源として発掘することの重要性が指摘されました。

講演終了後、参加者から今後の地域全体の取り組みについていくつかが質問が出るなど、コンベンションへの期待と関心の高さが伺われるものとなりました。





事務局日誌

2月

*正副会頭会議

- 6(火) 第34回正副会頭会議
- 19(月) 第35回正副会頭会議
- 29(水) 第36回正副会頭会議

*部会

- 7(水) 運輸港湾部会幹事会
- 19(月) 工業部会正副部会長会議
工業部会幹事会

*会議(日商)

- 9(金) 第9回日韓・韓日商工会議所会頭・会長会議
- 15(木) 第445回常議員会

*会議(道商連)

- 19(月) 全道商工会議所総務担当者会議(～2/20)

*会議(ブロック)

- 19(月) 道南商工会議所会員サービス事業事務担当者会議

*審査会

- 23(金) 第11回小企業等経営改善資金審査会

*諸会議

- 1(木) 北海道工業振興指針の策定に係る地域懇談会
北東公庫平成8年度予算案の概要説明
- 2(金) 本所議員会役員会
- 6(火) 北海道経済集合同館地域経済懇談会
- 7(水) 中小企業大学校函館地域関係機関連絡会議
渡島・松山いか残滓対策連絡協議会
四共済受託生命保険会社社長との連絡会議
- 8(木) 平成7年度第3回振興委員連絡会議
- 9(金) 本所議員会役員会
- 13(火) 日本珠算連盟函館支部役員会
平成7年度第1回住居表示審議会
本所婦人会2月例会
北海道通産局特定商業集積整備法「中心市街地活性化型」説明会
函館市競輪運営協議会
- 14(水) 渡島・松山いか残滓対策連絡協議会
函館経済記者クラブ総会
新幹線青森・函館同時開業促進期成会常任幹事会
- 16(金) 函館販売士協会正会員賛助会員との懇談会
所報「ともえ」編集会議
北海道函館地域意見交換会
- 17(土) ウラジオストク市職員との懇談会
- 19(月) 第2次天津チャーター便準備会
- 20(火) 函館ケーブルテレビ放送(株)第1回番組審議会
本所議員会役員会
「第5回生涯学習国際シンポジウム'95inはこだて」第3回実行委員会
- 21(水) 箱館五稜郭祭協賛会実行委員会事務局担当者会議
平成8年度労働保険事務組合年度更新関係事務説明会
北東公庫第1回函館地域開発懇談会
- 22(木) 渡島・松山地域雇用開発会議
国民金融公庫第10回連絡懇談会
道立函館高等技術専門学院整備推進協議会第3回会議
- 24(土) 日本珠算連盟北海道ブロック協議会臨時総会
- 26(月) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会臨時総会
- 27(火) 函館卸商連盟定時総会・講演会
- 28(水) (財)北海道大沼国際交流協会平成7年度第4回評議員会
函館繊維商組合総会
商業問題懇談会
- 29(木) 渡島・松山いか残滓対策連絡協議会
議員会議員懇談会

*講習・催物

- 8(木) 明治生命保険(相)「経営セミナー」
- 13(火) 納税相談(～3/13)
- 14(水) 経営相談
名瀬市・市制50周年記念南の島の贈り物「本場奄美大島軸と観光物産展」(～2/19)

- 17(土) 函館マルチメディア推進協議会「マルチメディア推進セミナー」
- 20(火) ロシアセミナー
- 23(金) 法律相談
- 27(火) 時短推進トップセミナー「労働時間短縮の進め方と労務管理のポイント」

*刊行物

- 9(金) 所報「ともえ」2月号 No.171
- 16(金) 金融ハンドブック「借入から返済までの自己判断30のポイント」
- 20(火) 「第5回生涯学習国際シンポジウム'95inはこだて」事業報告

*相談・診断

- 金融 44 税務 288 経理 11 経営 6
労働 0 取引 0 その他 0 合計 349

*貸室

- 文書受信 156 発信 16

*検定・大会

- 10(日) 第146回珠算能力検定試験
- 21(水) 第23回1級・第37回3級小売商(販売士)検定試験

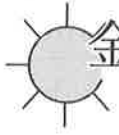
*陳情・要望

- 5(月) 函館港利用促進協議会平成7年度第3回ポートセールス
- 26(月) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会北海道新幹線早期着工実現総決起大会
函館～シンガポール間の国際定期航空路の開設に関する要望

*慶弔・その他

- 1(木) 北洋はなますクラブNPC函館ブロック連合会講演会懇談会
'96はこだて冬フェスティバルオープニングセレモニー
コンベンションセミナー
- 6(火) 中小企業大学校旭川校村林校長他来所
- 7(水) 渡島支庁高橋地域政策室長来所
ANA東国取締役札幌支店長他来所
(財)21世紀職業財団北海道事務所業務課植田氏来所
明治生命保険(相)経営セミナー
第9回日韓・韓日商工会議所会頭・会長会議日商主催歓迎晩餐会
- 9(金) 函館信用金庫懸賞金付定期預金抽せん会立合
函館市商店街振興組合連合会平成8年新年懇親会
- 10(土) '96はこだて冬フェスティバルオープニングセレモニー
函館朝市協同組合連合会平成8年度新年交歓会
- 11(日) 函館水産物小売商業協同組合第1回恵比寿講大祭
- 13(火) 北海道住宅都市部公園下水道課長川課長補佐他来所
南の島の贈り物「本場奄美大島軸と観光物産展」一行表敬訪問
- 14(水) '96はこだて冬フェスティバルフィナーレ
(社)日本中国料理調理士会函館支部新年懇親会
南の島の贈り物「本場奄美大島軸と観光物産展」開会式
南の島の贈り物「本場奄美大島軸と観光物産展」歓迎レセプション
- 15(木) (財)北海道地域総合振興機構民話講習会
函館公和会新年懇親会
北海道警察角地函館方面本部長退任挨拶
- 16(金) 函館税務署確定申告初日申告PR
(社)日本販売士協会会員研修会「流通活性化セミナー」
第18回函館の町並みを美しくする新春チャリティパーティー
北海道通産局杉野町工課長来所
- 18(日) 函館中央卸売市場買参者商業協同組合新年懇親会
(社)日本自動車販売協会連合会函館支部平成8年度通常総会後の懇親会
北海道新聞坂田函館支社長退任挨拶
- 20(火) スパホテルオールドベイはこだて建設地鎮祭
函館市振興連商店街活性化セミナー
ロシアセミナー
函館鮎同業会新年懇親会
北海道警察西川函館方面本部長着任挨拶
- 22(木) コンベンションフォーラム
第3回食品加工セミナー
- 23(金) 日本コンGRESSコンベンションビューロー平成7年度第2回
コンベンションビューロー部会
北東公庫「税制」講演会
- 26(月) 道立函館高等技術専門学院整備推進協議会予算お礼回り
- 27(火) ウラジオストク市長他表敬訪問
ウラジオストク市代表団歓迎レセプション
- 28(水) (社)函館馬主協会新年懇親会
北海道方面函館西警察署吉田署長着任挨拶
北海道新聞田中事業課長転任挨拶

地域の景気



金融経済概況1月

2月29日発表

1. 概況

○管内経済は、明暗交錯した状態にあるが、財政・金融両面からの政策効果や円高修正の影響が徐々に広がりつつある。すなわち、最終需要をみると、個人消費は全般できには伸び悩み傾向を脱していない。設備投資も企業の投資意欲には回復の兆しが窺われるものの、現状は散発的な動きに止まっている。これに対して、公的部門では政府の「経済対策」の効果本格化し、冬場にもかかわらず公共工事が大幅に増加しているほか、その影響がセメント・生コン、橋梁、合板等の関連業種にも波及している。また、住宅投資も低金利を主因に高水準で推移しており、輸出は円高修正を背景に各種機械を中心として受注や引合いの増加がみられている。こうした中で、企業収益は企業の合理化努力や金利低下を反映して、広範な業種で改善傾向が見受けられる。

○製造業では、半導体がパソコン向け需要の好調を背景にフル生産を続ける中、新製品の生産開始のための設備投資に踏み切っている。セメントも公共工事向けの需要の好調から引き続き能力一杯の生産体制にある。また造船では、造船部門、陸上部門とも、豊富な受注残を抱えフル操業となっている。同じく漁業機械でも海外向けの受注残の積上りから、高水準の生産を継続している。水産加工機械では、国内向けの受注好調に加え、中国からの大型案件の受注もあって、生産水準を引上げ

ているほか、製缶機械でも新型機種関連を中心に高操業が続いている。合板機械では、国内向け針葉樹対応機械への引合いが活発化しており、高目の操業を継続している。昨秋以降生産を抑制していた合板は、円高修正による輸入合板の流入減や市況持直し等を背景に減産体制を幾分緩和している。

一方、水晶発振器では、国内メーカーとの競争激化により受注は減少傾向にあり、抑制的な生産を続けている。この間、水産加工品は、乾燥珍味では、不需要期入りもあり全般的に低調な売上げとなっている一方、生鮮珍味では低価格品を中心として前年を上回る売上げとなっている。

非製造業をみると、1月の市内大型小売店の売上げは、降雪による来店客数の減少もあって、4か月連続の前年割れとなった。家電販売では、情報家電の好調、白物家電の不振といった傾向に変化は窺われない。

一方、1月の新車登録台数は、乗用車の販売増を主因に7か月振りに前年を上回った。この間、1月中の観光動向をみると、宿泊施設等による料金引下げの動きを受けて、個人客を中心に観光客の入込みが持直しており、宿泊施設利用客数は前月に続いて前年を上回った。この間、建設関連では冬場にもかかわらず、官公需を中心に受注が増加傾向にある。

○漁業では、スケトウ漁（漁期10月～翌2月）、噴火湾ホタテ漁（同12月～翌3月）とも前年を大幅に上回る水揚げ量となっているものの、価格は前年に比べ下落している。

○1月の金融動向をみると、預金は公金預金の増加を主因に、貸出は住宅ローンの好調等を背景に、いずれも前年を上回って推移した。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は小幅低下した。

【サービス業】

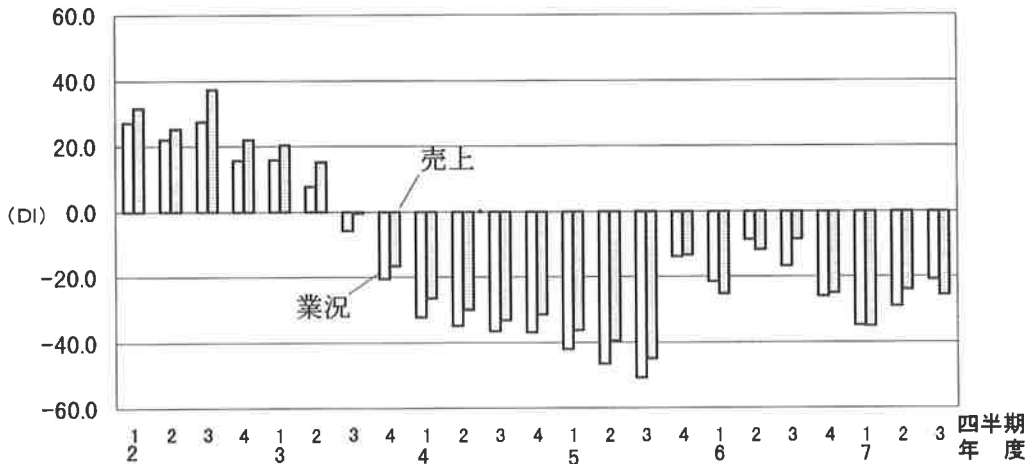
今期比 -32.0、前年同期比 -32.0となっており、引続き観光関連業種を中心に「横ばい」、「減少」を見込む企業がほとんどであり、厳しい見通しが続いている。

期に比べ「好転」とみる企業 4.4%に対し、「変わらない」とする企業が75.7%、「悪化」とみる企業19.9%で、DIは-15.5となり、資金繰り状況は今期と同様の見通しとなっている。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今

図-7 業況・売上額DIの推移(全業種・対前年同期比)



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

(平成8年1月)

品名	売上高 (千円)	対前月比 (%)	対前年同月比 (%)
衣料品	3,061,907	89.9	96.0
身の回り品	695,909	75.0	90.0
雑貨	845,453	75.9	112.5
家庭用品	585,502	70.9	96.4
食料品	1,598,822	47.2	96.5
食堂・喫茶	173,201	99.7	99.3
サービス	74,525	99.7	113.9
その他	489,905	63.3	85.0
総計	7,525,224	70.4	96.5

<10店> 棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

製造業では「景気の見通し難」20.8%、「製品安」、「人件費等経費の増加」がそれぞれ16.7%。

卸売業は「販売価格の値下がり」22.0%、「景気の見通し難」9.8%。

小売業では「客足の減少」が10.0%。

サービス業では「客足の減少」が最も多く41.6%、続いて「売上の不振」33.3%となっている。

来期（1月～3月）の見通し

今 期： 7年10月～12月実績

前年同期： 7年 1月～ 3月実績

1. 業況について

来期業況見通しを全業種で見ると、今期に比べ「好転」するとみる企業9.2%に対し、「横ばい」とみる企業が55.1%、「悪化」するとみる企業は35.7%となっており、D Iは-26.5。

前年同期比で見ると、「好転」9.3%に対し、「横ばい」61.6%、「悪化」29.1%で、D Iは-19.8となっており、引続き低調な見通しとなっている。

業種別のD Iで見ても、閑散期入りする業種を始め、総じて厳しい見通しとなっている。

図-5 来期の業況見通し（対前年同期比）

(D・I)	増進	横ばい	悪化
全業種 - 19.8	61.6	35.7	29.1
建設業 - 10.6	66.4	22.2	11.4
製造業 - 14.6	64.6	25.0	10.4
卸売業 - 12.2	66.3	22.0	11.7
小売業 - 32.6	51.0	40.3	8.7
サービス業 - 24.0	60.0	33.0	7.0
合計	横ばい	悪化	

2. 売上額について

来期の売上見通しを全業種で見ると、今期に比べ「増加」するとみる企業が14.5%

に対し、「横ばい」とみる企業が42.5%、「減少」するとみる企業が43.0%で、D Iは-28.5となっている。

また、前年同期比で見ると、全業種では「増加」12.4%に対し、「横ばい」が54.5%、「減少」が33.1%で、D Iは-20.7となり、引続き減少傾向が見込まれている。

図-6 来期の売上見通し（対前年同期比）

(D・I)	増加	横ばい	減少
全業種 - 20.7	54.5	42.5	33.1
建設業 - 11.1	66.7	22.2	11.1
製造業 - 10.6	59.8	25.5	14.7
卸売業 - 22.5	57.5	22.5	19.9
小売業 - 27.0	39.8	43.7	16.5
サービス業 - 32.0	60.0	33.0	7.0
合計	増加	横ばい	減少

次に来期の売上見通しを業種別のD Iで見ると、

【建設業】

今期比-15.0、前年同期比-11.1となっており、総じて「横ばい」を見込む企業が多くなっているが、総合工事業で「減少」を見込む企業が多くなっている。

【製造業】

今期比-44.8、前年同期比-10.6となっており、閑散期入りする水産加工業をはじめ、すべての業種でD Iがマイナスとなり、厳しい見通しとなっている。

【卸売業】

今期比-26.9、前年同期比-22.5となっており、繊維製品卸売業では増額を見込む企業が見られたが、他は総じて厳しい見通しとなっている。

【小売業】

今期比-17.6、前年同期比-27.1となっており、今期比の自動車小売業で増額を見込む企業が多く見られたが、他は総じて厳しい見通しとなっている。

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

今期の工事完成額についてのD Iは、前期比-5.2、前年同期比 -27.7と引続き減少傾向。総じて「横ばい」と回答した企業が多くなっている。

【製造業】

今期の生産額についてのD Iは、前期比が-2.1、前年同期比 -16.4となっており、食料品製造業、セメント精製業で「増加」と回答した企業が見られたが、総じて「横ばい」、「減少」と回答した企業が多く、依然低水準で推移している。

【卸売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が0.0、前年同期比では -15.0となっており、食料品卸売業、医薬・化粧品卸売業で「増加」と回答した企業が多く見られた。

【小売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -25.0、前年同期比 -38.0と依然停滞気味。いずれの細業種でもD Iがマイナスとなっている。

【サービス業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -33.3、前年同期比 -36.0となっており、引続き低迷。全業種中最もマイナス幅が大きくなっている。旅館・ホテル、観光関連業種を中心に「減少」を訴える企業が顕著となっている。

3. 純利益について

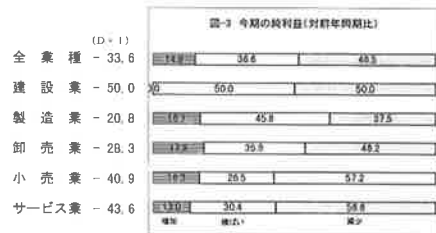
今期の純利益を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業16.1%に対し、「横ばい」38.7%、「減少」している企業45.2%で、D Iは -29.1となり、引続き減少傾向。

また、今期の純利益を前年同期比でみる

と、全業種では「増加」14.9%に対し、「横ばい」36.6%、「減少」48.5%で、D Iは -33.6となり、依然減少傾向で推移している。

業種別にみても、すべての業種で前期比、前年同期比ともにD Iが二桁のマイナス、採算の悪化傾向が続いている。

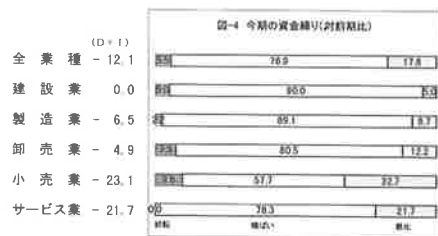
図-3 今期の純利益（対前年同期比）



4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業 5.5%に対して、「変わらない」とする企業が76.9%、「悪化」している企業が17.6%で、D Iは -12.1となっている。

図-4 今期の資金繰り（対前期比）



5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、引続き「売上・受注の不振」をあげる企業が43.2%で最も多く、また、ほとんどの業種でトップとなっている。

その他の問題点を業種別にみると、

建設業では「景気の見通し難」、「純利益の減少」がそれぞれ15.0%。

函館地域における 景気動向

〈平成7年度・第3四半期〉

平成7年度・第3四半期（平成7年10月～12月）の函館地域における景気動向調査（本所調査）結果がまとまりましたので、概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	320社	187社	58.4%
建設業	40	20	50.0
製造業	80	49	61.3
卸売業	70	41	58.6
小売業	90	52	57.8
サービス業	40	25	62.5

注）本調査結果の中のD Iとある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示しています。

今期（10月～12月）の実績

前 期： 7年7月～9月実績

前年同期： 6年10月～12月実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると、前期に比べ「好転」している企業が23.7%に対し、「横ばい」が40.8%、「悪化」している企業35.5%で、D Iは -11.8となっており、引続き停滞基調。

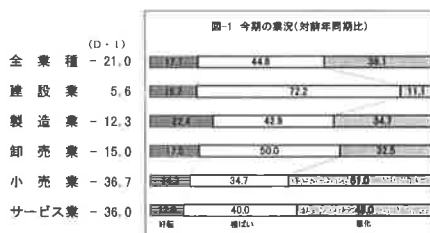
業種別のD Iで見ると、製造業が2.1と前期（7～9月期）に引続きプラスとなった

が、他はマイナスが続いている。

今期の業況を前年同期比で見ると、全業種では、「好転」17.1%に対し、「横ばい」44.8%、「悪化」が38.1%で、D I -21.0となり、平成3年度第3四半期以来、17期連続のマイナスとなった。（図-7参照）

業種別のD Iで見ると、建設業でプラスに転じているものの、小売業、サービス業でマイナス幅が大きく、企業の業況感は未だ停滞基調で推移している。

図-1 今期の業況（対前年同期比）

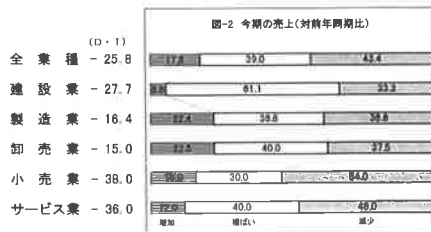


2. 売上額について

今期の売上額を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業25.5%に対し、「横ばい」36.4%、「減少」している企業38.1%で、D Iは -12.6となり、引続き減少傾向。

また、今期の売上額を前年同期比で見ると、全業種では「増加」17.6%に対し、「横ばい」39.0%、「減少」43.4%で、D Iは -25.8となり、やはり17期連続のマイナス、依然低水準で推移している。（図-7参照）

図-2 今期の売上額（対前年同期比）



函館商工会議所

年金共済制度 申込受付中!

2月1日～4月25日まで!
～この機会に、ぜひご加入下さい～

Q1 掛金はどの位?

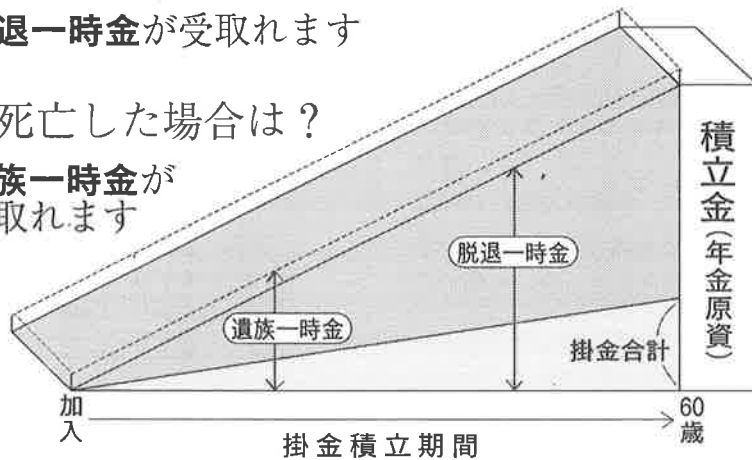
月払は**6,000円**、半年払は**10,000円**から!

Q2 途中脱退した場合は?

脱退一時金が受取れます

Q3 途中死亡した場合は?

遺族一時金が
受取れます



Q4 積立が完了した場合は?

3つのコースからご自由によびます

10年確定年金コース	15年確定年金コース	10年保証終身年金コース
加入者の生死にかかわらず、加入者またはその遺族に「年金」が10年間支払われます。	加入者の生死にかかわらず、加入者またはその遺族に「年金」が15年間支払われます。	加入者の生存中、終身にわたり「年金」が支払われます。10年の保証期間中に死亡の場合は、残余保証期間、遺族に「年金」が支払われます。

資料請求、詳細については ☎23-1181 会員課まで・内線21～23